

埼玉県中学校体育連盟野球専門部 公式記録

平成25年7月22日(月) 学校総合体育大会 幸手ひばりが丘球場 天候 曇り

1回戦 第一試合 越谷市立 千間台中学校 対 さいたま市立 植竹中学校

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	SD	10	11	12	13	計
植竹	1	0	0	0	0	0	0	1							2
千間台	0	0	1	0	0	0	0	0							1

植 坂巻 - 田中
千 広瀬 - 小島

2塁打 野津・木内(植)

3塁打

本塁打

初回、植竹中は1番が四球で出塁し、2番が送りバントを決め得点圏に塁を進めると、4番大澤がセンター前へヒットを打ち先制点を挙げる。3回にも植竹中は1死満塁と好機を作るも後続が倒れ、無得点に終わる。その裏、千間台は先頭が四球で出塁し、1番吉田が3塁線へセーフティバントを決め、1死1・3塁とすると続く2番白崎のショートゴロの間に3塁走者がホームへ還り同点に追いつく。続く4回、千間台は1死2塁から1塁後方へ打球が転がりライト吉岡がホームへ好返球し、無得点。その後、両校ともに得点圏へ塁を進めるも、両投手の好投が光り、7回まで無得点が続き延長戦へ。8回植竹は先頭の6番木内がレフトオーバーのツーベースを打ち、出塁し後続のサードゴロの間に3塁へ進むと2死から9番上條がショート強襲のライナーを打ち待望の追加点をあげる。その裏、植竹のエース広瀬が締め2回戦進出。

1回戦 第二試合 越谷市立 平方中学校 対 狭山市立 狭山台中学校

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	SD	10	11	12	13	計
平方	0	0	0	0	0	0	0								0
狭山台	0	0	0	1	0	0	×								1

平 伊香 - 加藤
狭 野村 - 秋山

2塁打 橋本(狭)

3塁打

本塁打

両投手とも安定した立ち上がりを見せ、序盤は無得点が続いた。3回表、平方中は8番が四球で出塁し、その後進塁打で1死1・2塁となり、セーフティーバントが決まり、1死満塁と好機を作るも後続が倒れ、無得点に終わる。3回裏、狭山台中も8番がヒットで出塁し、9番が送りバントを決め、その後、四球で1・2塁としたが後続が倒れ、無得点に終わる。4回裏、狭山台は2死2塁から、5番橋本が左中間にツーベースヒットを打ち、待望の先制点をあげた。6回裏狭山台中は、1番が死球で出塁し、進塁打、四球で1死1・2塁としたが後続が倒れ、平方中の投手伊香が粘り強いピッチングを見せ、追加点を許さなかった。その後、狭山台中の投手野村が3回以降ほとんどランナーを出さない完璧なピッチングで、息詰まる投手戦を制し、狭山台中が2回戦進出。

1回戦 第三試合 上尾市立 上平中学校 対 さいたま市立 土合中学校

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	SD	10	11	12	13	計
上平	0	0	0	0	0										0
土合	2	0	4	0	1	×									7

上 小川・島本・小川 - 山口
土 菅原 - 酒井

2塁打 井原(土)

3塁打 飯塚(土)

本塁打

初回、土合は四球とヒットで2・3塁と好機を作ると4番酒井が右中間へヒットを打ち、2点先制。続く3回、土合は死球で出塁すると3番飯塚がレフトを越えるスリーベースを打ち1点を挙げると、さらに5番菅原のセーフティスクイズの間に1点を追加し、後続の打者のピッチャーゴロを上平の守備が乱れ2点をあげ、この回4点を追加する。攻撃の手を緩めない土合は5回裏に相手のミスにより出塁すると、8番井原が右中間にツーベースを打ち、1点を追加し、規定により5回コールドで土合の勝利。守ってはエース菅原の要所を締めるピッチングで5回ながら完封、2回戦へと駒を進めた。

1回戦 第四試合 私立 立教新座中学校 対 久喜市立 久喜東中学校

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	SD	10	11	12	13	計
久喜東	0	1	0	0	0	0	0								1
立教新座	1	0	0	1	0	0	×								2

久 柴田 - 西川
立 松原 - 染谷

2塁打

3塁打

本塁打

初回、立教新座は1番がセンター前ヒットで出塁し、2番が送りバントを決め、内野安打で1・3塁とし、4番松原のレフト前ヒットで1点を先制。なおも1・2塁でダブルスチールを決め、2・3塁とし、続く打者も四球を選び2死満塁としたが、チャンスを活かせず残塁に終わる。久喜東は2回表、1死から振り逃げで出塁し、盗塁、センター前に落ちるヒットで1・2塁、さらに死球で1死満塁とし、8番菅沼の内野ゴロの間に1点を取り返し同点に追いつく。4回裏、立教新座は5番が死球で出塁、内野フライ、盗塁で1死2塁とし、その後三振、バースボールで2死3塁とし、8番中塚の内野強襲ヒットで1点勝ち越す。その後両チームチャンスを作るが、両投手の好投が光り、得点できず。7回表久喜東は、6番の内野強襲ヒットで出塁し、相手の守備のミスで1・2塁とし、その後1死、バースボールで2・3塁とし、チャンスを作り粘りを見せたが得点できず、立教新座が息詰まる投手戦を制し、2回戦進出を決めた。